

【図表1】子どもの自殺

文部科学省発表 子どものいじめ自殺者数(新聞等は武田調べ範囲内) (人)											警察庁 厚生省		和暦(年)	子どもに関する主な出来事	
西暦(年)	小学校			中学校			高校			合計		19歳以下			自殺者総数
	自殺	いじめ自殺	(新聞等)	自殺	いじめ自殺	(新聞等)	自殺	いじめ自殺	(新聞等)	自殺	いじめ自殺		(新聞等)		
1974				69			208			277	0	854	19,105	昭和49	高校進学率が90%を超える
1975				79			211		1	290	1	857	19,975	昭和50	乱塾(小学生の塾通い62%、中学生45.6%)
1976				72			216		0	288	0	801	19,786	昭和51	文部省、教育白書「我が国の教育水準」を閣議に報告。高学歴化、生涯教育の必要性等
1977	10			89			222		1	321	1	813	20,269	昭和52	家庭内暴力の息子殺害(開成高校生殺人事件)
1978	9		1	91		1	235		1	335	3	866	20,199	昭和53	滋賀県でいじめに耐えかねた少年2人(中3)が4人を就寝中に襲い1人死亡、2人重傷
1979	11		0	104		3	265		3	380	6	919	20,823	昭和54	林賢一君(中1・12)いじめ自殺。国立大学共通一次試験
1980	10		0	59		1	164		1	233	2	678	20,542	昭和55	校内暴力多発。家庭内暴力急増。予備校生(20)金属バット両親殺人事件
1981	8		1	74		1	146		1	228	3	620	20,096	昭和56	少年非行、弱者への凶悪目立つ
1982	8		0	62		0	129		0	199	0	599	20,668	昭和57	中・高校の卒業式に警官関与1528校となる。戸塚オックススクールで訓練生死亡
1983	6		0	83		2	148		0	237	2	657	24,985	昭和58	町田市・志生中学校で教師(38)が生徒(中3・15)を果物ナイフで刺す(10間のけが)。横浜・ホームレス殺害
1984	12	1	0	66	6	3	111		0	189	7	572	24,344	昭和59	公・私立高校中退者が11万人を超える。大阪産業大学高校(高1)いじめ報復殺人
1985	11	0	1	79	9	18	125		2	215	9	557	23,383	昭和60	小川中・佐藤清二君(中3・14)いじめ自殺。公立校でのいじめ15万5千件。初の「いじめ白書」
1986	14	0	3	110	2	11	144		0	268	2	802	25,667	昭和61	鹿川裕史君(中2・13)いじめ自殺。岡田有紀子さん(18)自殺
1987	5	0	0	54	1	4	111		0	170	1	577	23,831	昭和62	愛媛県の中学校で、いじめられていた女子生徒(中3・14)が給食に農薬混入
1988	10	0	1	62	2	7	103		0	175	2	603	22,795	昭和63	岩脇寛子さん(中1・13)いじめ自殺。東京・綾瀬で女子高生(17)コンクリート詰め殺人事件
1989	1	0	0	53	0	5	101		1	155	1	534	21,125	平成元	宮崎勤(26)幼女連続殺人事件
1990	5	0	0	35	0	2	101		1	141	1	467	20,088	平成2	初めての大学入試センター試験実施。神戸高塚高校・女生徒(高1・15)校門圧死事件
1991	5	0	0	43	0	2	73		0	121	0	454	19,875	平成3	豊中市立第15中学校・水元佐和さん(中3・15)同級生男女4人に暴行され一週間後死亡
1992	3	0	1	68	0	4	88		0	159	0	524	20,893	平成4	飯田高校・小野寺仁君(高2・17)、応援団長(高3・18)に「態度が大きい」と刺殺
1993	4	0	0	40	0	8	87		1	131	0	446	20,516	平成5	児玉有平君(中1・13)山形マツト死事件。大槻中・男子生徒(中3・14)同級生2人暴行を受け死亡
1994	10	0	0	69	4	12	87		2	166	5	580	20,923	平成6	大河内清輝君(中2・13)いじめ自殺。少年4人による長良川連続リンチ殺人事件
1995	3	1	1	59	5	13	77		0	139	6	515	21,420	平成7	福岡県宗像市・父親(49)が息子(中2)をいじめた少年2人(中2)を監禁
1996	9	0	2	41	2	9	93		2	143	2	492	22,138	平成8	知覧中・村方勝己君(中3・14)「死ねばいじめは解決する」との遺書を残して自殺
1997	6	0	1	41	0	5	86		1	133	1	469	23,494	平成9	学級崩壊が問題化。神戸・児童連続殺傷事件
1998	4	0	0	69	1	8	119		7	192	1	720	32,863	平成10	小森香澄さん(高1・15)いじめ自殺。岡崎智君(中3・14)同級生に殺害。黒磯市・女性教諭刺殺事件
1999	2	0	0	49	0	6	112		2	163	1	674	33,048	平成11	広島県世羅高校長が「日の丸・君が代」問題を苦に自殺。不登校12万8千人となる
2000	4	0	0	49	0	7	94		3	147	0	598	31,957	平成12	名古屋5000万円恐喝事件発覚。佐賀・バスジャック事件
2001	4	0	0	37	0	0	93		3	134	0	586	31,042	平成13	障害者手帳2級の青木悠君(16)少年2人に暴行され殺害。少年法改正。池田小事件で8人の児童殺害
2002	3	0	0	36	0	4	84		1	123	0	502	32,143	平成14	東京都東村山市で中高校生5人が野宿者(55)殺害。京都のスミダスクールで少年(中1)がいじめ自殺
2003	5	0	0	35	0	2	98		1	138	0	613	34,427	平成15	福岡県の小学校で男性教師(46)がアメリカ人の血が交じっていると男子児童(小4・9)をいじる
2004	4	0	0	31	0	2	91		0	126	0	589	32,325	平成16	長崎県佐世保市の小学校で御手洗裕美さん(小6・12)が同級生の女兒(小6・11)に殺害される
2005	3	1	1	25	0	3	75		0	103	1	608	32,552	平成17	大阪府寝屋川市の小学校で卒業生の少年(17)が男性教師(52)を殺害。長崎で子どもの自殺が相次ぐ
2006	2	0	0	41	5	9	128		1	211	6	623	32,155	平成18	愛媛県今治市の(中1男子)、福岡県筑前町(中2男子)でいじめ自殺。以降、全国で子どもの自殺が相次ぐ
2007	3	0	0	34	1	4	122		4	159	5	548	33,093	平成19	兵庫県神戸市の私立高校で男子生徒(高3・18)が自殺。「うそ1回につき罰金1万円」と約束していた
2008	0	0	0	36	1	2	100		2	136	3	611	32,249	平成20	ホームページに悪口などを書かれ、自殺するケースが増加
2009	0	0	0	44	1	2	121		1	165	2	565	32,845	平成21	名古屋で男子生徒(中3・14)が焼身自殺
2010	1	0	2	43	4	6	112		0	156	4	552	31,690	平成22	篠原真矢くん(中3・14)が「友達を守れなかった」と残して自殺
2011							3			0				平成23	
195	3	15	2,131	44	169	4,680	13	62	7,006	60	246	23,045	939,329		

【図表2】警察庁生活安全局地域課 職業別自殺者数 (人)

西暦(年)	小学校		中学校		高校		小・中・高合計	
	自殺	いじめ自殺	自殺	いじめ自殺	自殺	いじめ自殺	自殺	いじめ自殺
2000	10		93		176		279	
2001	11		78		198		287	
2002	5		54		174		233	
2003	10		83		225		318	
2004	10		70		204		284	
2005	7		66		215		288	
2006	14		81	いじめ 男女	220	いじめ 男女	315	いじめ 男女
2007	8		51	1 (1:0)	215	6 (3:3)	274	7 (4:3)
2008	9		74	5 (4:1)	225	6 (3:3)	308	11 (7:4)
2009	1		79	3 (1:2)	226	4 (2:2)	306	7 (3:4)
2010	7		76	3 (2:1)	204	1 (1:0)	287	4 (3:1)

警察庁の統計：2007年に自殺統計原票を改正し、遺書等の自殺を裏付ける資料より明らかに推定できる原因・動機を3つまで計上

文部科学省(文部省)の統計
 ※小学生は1977年から調査。 ※1974年から1987年までは年間の数。1988年以降は年度間数。
 ※文部科学(文部)省 2005年までは公立・小・中・高のみ対象。2006年から、公立・私立・国立・特別支援学校対象。
 自殺した児童生徒の状況は複数回答を可とする。

※(新聞等)は、新聞等から拾ったいじめが原因と思われる自殺者数(公立・私立含む)
 ※中学時代のいじめが原因で卒業後に自殺し、所属がない場合は中学生に入れた

【図表3】厚生労働省 平成20(2008)年度 年齢別死亡原因(1位~3位)

年齢	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54
第1位	不慮の事故	不慮の事故	自殺	自殺	自殺	自殺	自殺	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
第2位	悪性新生物	悪性新生物	不慮の事故	不慮の事故	不慮の事故	悪性新生物	悪性新生物	自殺	自殺	心疾患
第3位	その他の新生物	自殺	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	不慮の事故	心疾患	心疾患	心疾患	自殺

※平成19年度までは、15~19歳の自殺は死因の第2位。男子第2位(285)、女子第1位(171人)
 平成20年度、15~19歳の自殺は死因第1位。男子第2位(305人)、女子第1位(201人)